NEWS

『がん相談支援センター』のご案内

お気軽にご相談ください

がん相談支援センターでは、医療ソーシャルワーカーや看護師が、皆様のお話を伺い一緒に考え、問題解決のお手伝いをします。
外来通院中の方だけでなく通院されていない地域の方々どなたでもご相談いただけます。
ご入院中の方は、病状を最もよく理解している担当医や看護師にまずご相談下さい。



ABOUT

がん相談支援センターで相談できること

がん相談支援センターで定められた相談内容

- がん診療に関する一般的な医療の情報提供（小児・AYA世代・高齢者）
- がん療養中の暮らしや制度、サービスについて聞きたい
- 経済的負担や支援、医療福祉相談
- アピアランスケアに関する情報提供
- 治療や生活のことに悩んだとき
- 仕事を続けることができるか心配
- セカンドオピニオンについて聞きたい
- アスベストによる肺癌や中皮腫

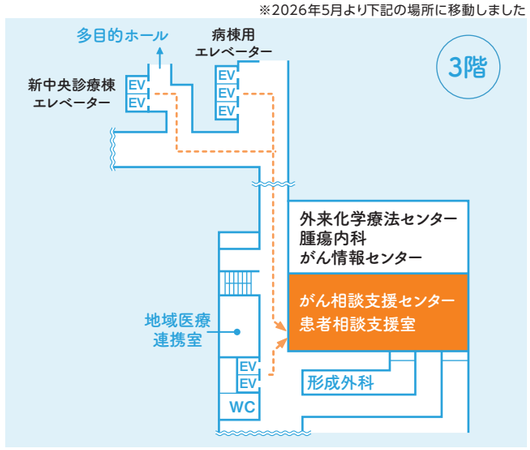
当院で多い相談内容

- がんサロン、患者会に関する情報提供
- 医療者や患者とのコミュニケーション
- 緩和ケア病棟について聞きたい

ご相談について

相談時間	月～金（祝日除く）8:30～17:15
相談予約	必須ではありませんが状況により待ち時間が発生する場合があります
場所	京都医療センター 外来管理診療棟 3階 がん相談支援センター 患者相談支援室
在室時間	10:30～12:30 (上記時間外は、外来棟3階地域医療連携に在室)
電話	075-641-9161（代表）音声ガイダンス4番 電話交換手に「相談窓口」とお伝えください

※2026年5月より下記の場所に移動しました



今号の表紙 つながるピースで、腸と健康の関わりを表現しました。



独立行政法人国立病院機構
京都医療センター
National Hospital Organization Kyoto Medical Center

発行元

うづらだより 第164号 2025 Autumn
独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 広報戦略室
〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1 TEL：075-641-9161（代表） FAX：075-643-4325

※掲載内容は発行時点の情報です。 2025.09 初版 / 2026.04 改訂

京都医療センター 広報誌

うづらだより



気軽にできる！予防体操

簡単「骨粗鬆症予防体操」

Volume 164
2025 Autumn

うづらトピックス

お腹の不調、長引いてませんか？

潰瘍性大腸炎のお話

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

\ 京都医療センターさん、これ気になります /

うづらトピックス

このコーナーでは、毎回身近な病気や医療をテーマに解説します。

今回のテーマ

潰瘍性大腸炎

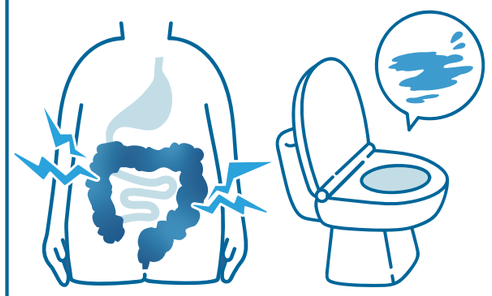
潰瘍性大腸炎（かいようせいだいちょうえん）とはどんな病気でしょうか？

潰瘍性大腸炎は、大腸の粘膜に炎症や潰瘍ができる原因不明の腸の病気で、腹痛や下痢などの症状が長く続きます。若い世代に多く見られますが、年齢に関係なく発症します。近年、患者数は増加しており、早期発見には大腸内視鏡検査が重要です。

潰瘍性大腸炎について

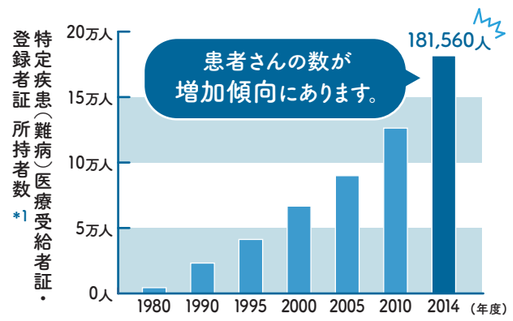
*1 参照：厚生労働省 衛生行政報告例
https://www.e-stat.go.jp

主な症状



腹部不快感や腹痛、下痢、粘液が混じった血便。
症状が悪くなったり、良くなったりを繰り返します。

潰瘍性大腸炎の患者数の推移



10代から30代で病気を発症される方が
多いですが、高齢の方も発症します。

CHECK お腹の調子が悪いときは大腸内視鏡検査を

お腹の痛みや下痢などが続くときは、大腸内視鏡検査を受けることが大切です。傷んだ腸の様子を直接見ることで、潰瘍性大腸炎かどうかを診断できるだけでなく、症状の重さを判断し、適切な治療につなげることができます。できるだけ早く炎症をおさえ、腸の状態を整えることが大切です。薬や点滴を病状に合わせて調整しながら、よい状態を長く保てるように治療を続けていきます。

先生からのアドバイス

潰瘍性大腸炎と診断されたら・・・・

潰瘍性大腸炎は原因がはっきりしない病気ですが、最近は飲み薬や注射薬など治療の選択肢が増え、大きく進歩しています。症状が重いと入院が必要になることもありますが、ほとんどは外来で治療が可能です。患者さんと相談し、無理のない治療を続けていくことで、病気と上手に付き合いながら、勉強やスポーツ、仕事、趣味など、日常生活をエンジョイできるようサポートいたします。



ピックアップニュース

初開催 ハロー！ホスピタル

※終了しました
2025年 10月25日（土）10:00～15:00

会場 京都医療センター　対象 小・中学生 向け

京都医療センターでは、地域の子どもたちに医療の仕事を身近に感じてもらうためのお仕事体験フェア「ハロー！ホスピタル」を開催いたします。
医師・看護師・薬剤師など、さまざまな職種の体験ブースを設け、楽しみながら医療の大切さを学んでいただけます。大人の方も楽しめるイベントとなっておりますので、ぜひご家族の皆さんでご参加ください。

詳しくは
当院ホームページを
ご覧ください



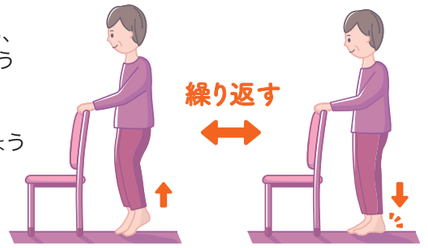
気軽にできる

骨粗鬆症予防体操

運動を行うことで骨に刺激が加わり、骨が丈夫になると言われています。骨粗鬆症予防と改善のための適度な運動をご紹介いたします。

かかと落とし　各1セット10回～15回で、2～3セット行いましょう

- 椅子をつかんで立ち、かかとを上げましょう
- そのままかかとをストンと落としましょう
- この運動を繰り返しましょう



- 膝に痛みがある方は、イスに座ったままでのかかと落としや足踏みなど無理のない方法で実施しましょう。



⚠ 注意点：骨粗鬆症の方は医師に相談してから行ってください。この運動で痛みが出た場合は速やかに中止し、医師にご相談ください。

\ シリーズINTERVIEW / Personality 岸本 香織さん

FM845「カラダ元気」出演報告

FM845 京都リビングエフエム
毎月最終火曜日 14:05～14:30 放送

過去の放送はこちらから

今後の放送予定（終了しました）

2025.10.28	消化器内科 診療科長 上尾 太郎
2025.11.25	認知症ケア 専門看護師 兼田 浩美
2025.12.23	循環器内科 益永信豊、山本なお美

2025.7.29	2025.8.26	2025.9.30
産婦人科 診療科長 濵西 潤三	麻酔科 診療科長 東別府 直紀	広報戦略部長 畑 啓昭
「子宮体がんについて」	「手術の麻酔と“周術期最適化”って何？」	「ハロー！ホスピタルを開催します」
不正性器出血などの子宮体がんの症状から検査、治療について解説し、早期発見の大切さをお伝えしました。	手術の麻酔の役割や安全性を紹介し、手術後早く回復するための工夫について分かりやすく解説しました。	小中学生向けの医療体験フェア「ハロー！ホスピタル」の概要や見所などをご紹介しました。